

平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	物理2(Physics 2)		授業コード	C186851
担当教員名	島元 世秀		科目ナンバリングコード	
配当学年	1	開講期	後期	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	基礎学力講座の物理の授業を受講しておくことが望ましい。			
受講心得	無遅刻・無欠席で受講し、物理2専用のノートを作成してください。			
教科書				
参考文献及び指定図書	物理学(裳華房) 小出昭一郎 著			
関連科目	基礎学力講座物理			

授業の目的	物理の初歩から応用まで講義を進め、基礎的な法則、事項などを理解する事を目的とする。
授業の概要	力と運動、エネルギー、波動、電気と電磁気について理解を深める。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：力と運動(1) 物体の運動、小テスト及び解説	小テストの予習及び復習
第2週：力と運動(2) 力と運動の法則、小テスト及び解説	小テストの予習及び復習
第3週：力と運動の総括 小テスト及び解説	小テストの予習及び復習
第4週：エネルギー(1) 仕事と力学的エネルギー・小テスト及び解説	小テストの予習及び復習
第5週：エネルギー(2) 熱とエネルギー、エンタルピー、エントロピー、ジュール熱、比熱、小テスト及び解説	小テストの予習及び復習
第6週：エネルギー(3) オームの法則、電位、キルヒホッフの法則、静電容量、誘電分極、電気とエネルギー、小テスト及び解説	小テストの予習及び復習
第7週：エネルギーの総括 小テスト及び解説	小テストの予習及び復習
第8週：波動(1)	

波の性質、小テスト及び解説		小テストの予習及び復習
第9週：波動(2) 音波(原子・分子)、小テスト及び解説		小テストの予習及び復習
第10週：波動(3) 光波(原子・分子)、光の反射・屈折、光の回折・干渉、小テスト及び解説		小テストの予習及び復習
第11週：波動の総括 小テスト及び解説		小テストの予習及び復習
第12週：電気・電磁気(1) クーロンの法則、電荷、磁化、アンペールの法則、変位電流、直流と交流・小テスト及び解説		小テストの予習及び復習
第13週：電気・電磁気(2) 電界、磁界、電磁界、電磁誘導、電波、小テスト及び解説		小テストの予習及び復習
第14週：電気・電磁気の総括 小テスト及び解説		小テストの予習及び復習
第15週：まとめ 小テスト及び解説		小テストの予習及び復習
第16週：期末試験		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①時間管理：ほぼ無遅刻、無欠席で授業に参加できる。
【知識・理解】	①学修スキル：教科書の内容を手助けを借りながら理解できる。
【技能・表現・コミュニケーション】	①交流：教員の働きかけにほぼ的確に応えることができる。②学修スキル：講義ノートを作成する
【思考・判断・創造】	①レポート課題を期日以内に提出することができる。②教科書の内容を活用できる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	

【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		15点	15点
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	70点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。			

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	物理2の専用のノートを作成し提出してください。
発表・その他 (無形成果)	・無遅刻、無欠席で授業に参加できる。